

茶 除草剤一覧

2025年7月1日現在

| 分類 | 除草剤名 (成分・含量) | 作用特性 [化合物の種類] | 対象 雑草 | 使用上の注意事項 ¹⁾ |
|------|--|--|------------------------------------|---|
| 土壤処理 | トレファノサイド乳剤 (トリフルラリン 44.5%) | [ジニトロアニリン系] ・非ホルモン型移行性 ・根部・子葉部吸収 ・残効性：長 ・移動性：極少 | 一年生雑草 (ツユクサ、カヤツリグサ、キク・アブラナ科を除く) | 1. 全面土壤散布を行う。散布量は畝間面積を算出し決定する。 2. 茶樹の枝葉にかかるよう均一に散布する。 3. カヤツリグサ、ツユクサ、キク科雑草には効果が劣る。 |
| | トレファノサイド粒剤2.5 (トリフルラリン 2.5%) | | | |
| 茎葉処理 | プリグロックスL (ジクロットジブロミド 7.0% パラコートジクロロト 5.0%) | [ビピリジリウム系] ・非ホルモン型接触性 ・一部移行性 ・土壤中では短時間で不活性化 | 一年生雑草 | 1. 畠間土壤処理を行う。散布量は畝間面積を算出し決定する。 2. 茶樹の枝葉にかかると薬害を起こすので、噴霧器の圧力を下げ飛散しないようする。 3. 専用展着剤の加用及び曇天または夕方の散布が効果が高い。 4. 毒性が強いのでマスク、ゴム手袋、防護メガネを着用する。 |
| | バスタ液剤 (グルホシネット 18.5%) | [酸アミド系] ・非ホルモン型 ・吸収移行性 ・茎葉部から吸収 | 一年生雑草 | 1. 畠間土壤処理を行う。散布量は畝間面積を算出し決定する。 2. 茶樹の枝葉にかかると薬害を起こすので、噴霧器の圧力を下げ飛散しないようする。 3. 敷布後6時間以内に降雨があると効果が劣る。 |
| | ラウンドアップマックスロード (グリホサートカリウム塩 48.0%) | [アミノ酸系] ・吸収移行性 ・茎葉、緑色樹皮、活性芽から吸収 ・土壤中では短時間で不活性化 | 一年生および多年生雑草 | 1. 茶樹の枝葉にかかるよう均一に散布する。 2. 敷布1時間後に降雨があっても効果が高い。 |
| | タッチダウンiQ (グリホサートカリウム塩 44.7%) | | | |
| | サンダーボルト007 (ピラフルフェンエチル 0.16% グリホサートイソプロピル アシン塩 30.0%) | [ダイアゾール系] ・非ホルモン型 [アミノ酸系] ・吸収移行性 ・茎葉、緑色樹皮、活性芽から吸収 ・速効、遅効混合剤 | 一年生および多年生雑草 | 1. 茶樹の枝葉にかかるよう均一に散布する。 2. 敷布後数時間以内に降雨があると効果が劣る。 |
| | ザクサ液剤 (グルホシネットPナトリウム塩 11.5%) | [アミノ酸系] | 一年生雑草 | |

注) 水産動植物に対する影響については、農薬使用前に製品ラベルの「安全使用上の注意」欄に記載してある注意事項を必ず確認する。散布の際はキリナシノズル、飛散防止カバーを使用する。